

防災警察常任委員会県内調査報告書

令和元年7月23日(火)に、「災害対策及び消防に関する事項」及び「生活安全、地域、刑事、交通及び警備警察に関する事項」について調査を実施したところ、その概要は次のとおりでした。

神奈川県議会議長 梅 沢 裕 之 殿

防災警察常任委員会 委員長 渡 辺 紀 之

# 防災警察常任委員会県内調査報告書

令和元年7月23日（火）

## 1 調査の概要

- (1) 調査箇所 海上自衛隊横須賀地方総監部、横須賀刑務支所
- (2) 出席委員 渡辺(紀)委員長、京島副委員長、  
永田(て)、市川(和)、杉本、いそもと、土井、西村、相原の各委員
- (3) 調査日 令和元年7月23日(火)

## 2 海上自衛隊横須賀地方総監部

### (1) 調査目的

海上自衛隊横須賀地方総監部は、主に北は岩手県、西は三重県に至る太平洋沿岸一帯を警備区域とし、主な任務は、担当警備区域の防衛・警備、災害派遣、自衛艦隊等の正面部隊に対する後方支援業務、機雷・爆発性危険物の除去及び処理、民生協力等にあたっている。

また、大規模災害発生時における広域的な応援体制として、派遣要請を受け、人員及び物資の緊急輸送など、さまざまな救援活動を行うこととなっている。

本県では、災害時広域応援体制の強化に取り組んでいることから、海上自衛隊横須賀地方総監部の災害派遣の取り組みを調査することにより、今後の災害対策に関する事項についての委員会審査の参考に資する。

### (2) 主な説明項目

#### ア 災害派遣活動について

海上自衛隊は、大規模災害などが発生した際に、派遣要請を受け、関係防災機関と常に密接な連絡を保ちながら、遭難船舶、遭難航空機及び行方不明者の捜索救助並びに救急患者、緊急援護物資の輸送などの災害派遣を実施している。

船舶、航空機による救難に対しては、艦艇、航空機を直ちに発進できる態勢で常時待機させており、離島や僻地などからの救急患者の空輸にも即応している。

災害派遣部署等の配置の確認や陸上部隊の編制、艦艇における対応等、基礎的訓練を実施することにより、災害派遣態勢の確立などを図るために災害派遣訓練を行っている。

東日本大震災では、捜索救助、航空機での救助、人員の輸送、医療支援等を実施し、現地では、物資輸送、瓦れきの除去、炊き出し支援、入浴支援を行った。

首都直下型地震が発生した際は、いずも型の護衛艦が発出し、横浜港や山下ふ頭に停泊し、作戦室が設けられ、市や県の職員と合同で対応していくことになる。

## イ 補給艦ときわについて

平成2年3月に就役し、湾岸戦争に伴うペルシャ湾での機雷掃海任務に従事する艦艇への補給任務支援のための派遣、阪神・淡路大震災に伴う災害派遣、トルコ北西部地震の被災者救援に伴う仮設住宅輸送のための派遣、テロ対策特別措置法に基づくインド洋方面派遣及びインドネシア・スマトラ島沖地震に伴う被災地援助のための国際緊急援助活動等の任務に従事してきた。

補給艦の任務としては、護衛艦への補給、物資の輸送、邦人・被災民の輸送等があり、災害時には被災地への真水の供給、支援物資の供給、医療支援等が期待される分野として挙げられる。

阪神・淡路大震災の際は、平成7年1月17日に発生した当日から6月21日までの間、災害派遣の任務に従事した。また、東日本大震災の際は、震災発生日に災害派遣命令が出され、その日の夜に緊急物資の搭載が行われた。搭載された物資は、非常用糧食1万5千食、水2リットルのペットボトルにして約2万本、災害派遣用の毛布約5千枚及びトイレトイレットペーパー、災害用組立式トイレ、タオル等の一般用品が搭載された。また、派遣された現地では、補給作業がない期間には被災者の捜索救難に従事した。

### (3) 主な質疑応答

**質 疑** 海外派遣の際、大きな艦艇に補給すると、積んでいった補給物資は1回で全てなくなってしまうのか。また、日本から積んでいった物資がなくなった場合、日本に戻ってくるのか。

**応 答** イージス艦に残量がない状態で補給すると10隻くらいでなくなる。物資の調達には日本に戻ってくるわけではなく、10日に1回くらい、港に入って、いろいろな寄港地で補給用物資を調達し、再び補給する。

**質 疑** 海外派遣、災害派遣の際、補給艦に医者と歯医者が乗船するということだが、1隻に複数人配置されるのか。また、機材がそろっているが、手術をすることもあるのか。

**応 答** 何隻かの部隊の中で一人ずつ配置される。大規模震災などの際に、病院に行けない緊急事態の際は、手術もできる医療拠点として使用できる。

**質 疑** 補給するエリアは、決まった場所があるのか。

**応 答** 特に決まった場所はなく、漁船がないところや、波、風の方向などを考慮して決める。

**質 疑** 補給の際に、大きなトラブルは過去にあったか。

**応 答** 特にないが、補給ワイヤーが外れたこと等はあった。

(※ 上記以外の質疑は、艦艇見学中に随時行われた。)



#### (4) 調査結果

海上自衛隊横須賀地方総監部では、大規模災害発生時には、捜索救助、人員及び物資の輸送、医療支援等、広域的な応援体制の災害派遣活動をさまざま行っていた。

以上のように、海上自衛隊横須賀地方総監部における災害派遣の取り組みを調査したことにより、本県の今後の施策を審査する上で、参考に資することができた。

### 3 横須賀刑務支所

#### (1) 調査目的

横須賀刑務支所は、横須賀市に位置し、主として犯罪傾向の進んでいない男子受刑者及びいわゆる日米地位協定に規定される外国人受刑者を収容する刑事施設である。

また、同施設は、横浜地方検察庁横須賀支部管内の刑事被告人、被疑者も合わせて収容し、防御権を尊重しつつ、適正な収容生活の確保に努めた警備体制をとっている。

本県では適正な留置業務の推進に取り組んでいることから、刑務所の警備体制についての取り組みを調査することにより、今後の警備警察に関する事項についての委員会審査の参考に資する。

#### (2) 主な説明項目

施設の規模は、敷地総面積64,077平米、庁舎56,436平米、宿舍7,641平米で、建物総面積は延14,845平米、庁舎延10,547平米、宿舍延4,298平米で、収容定員は257名である。

刑務所は、裁判で懲役、禁錮及び拘留に処せられた者の刑を執行するところであり、横須賀刑務支所では、主として、犯罪傾向の進んでいないA指標の男子受刑者を収容し、規律正しい生活習慣と勤労意欲を身につけ、反省悔悟を促すための矯正処遇を展開している。

令和元年7月23日現在の収容人員総員は、163名（懲役受刑者155名、未決拘禁者6名、労役留置者2名）で、受刑者の平均年齢は46歳であるが、65歳以上が40名おり、全体の約3割が高齢者である。なお、最高齢は84歳である。

各種指導について、受刑者に対しては、懲役刑本来の意義である作業を行わせるとともに、犯罪への責任の自覚や、社会生活に適応するために必要な知識を習得させるための改善指導、社会生活の基礎となる学力を付与することを目的とした教科指導の二つの指導を実施している。

再犯防止の動きとしては、法務省において再犯防止対策推進委員会が発足し、平成24年に再犯防止に向けた総合対策が閣議決定し、その後、新たな法律が制定されるなど、現在に至っている。近年の動きとしては、国として初めてとなる再犯防止推進計画が策定され、各自治体での取り組みが活発化している。本県においても、神奈川県再犯防止推進計画が策定され、取り組みが行われている。

#### (3) 主な質疑応答

**質 疑** 再犯防止のために、施設で取り組んでいることはあるか。

**応 答** キャリアカウンセラーやハローワークの職員が受刑者と話し合いを行い、就労支援指導を行っている。

**質 疑** 刑務所から出所することになった時に、行くところがない場合はど

うするののか。

応 答 最悪、簡易宿を紹介あつせんするが、このような人はめったにいない。出所時に身寄りがなく行き場所のない人を受け入れる地域生活定着支援センターという施設が各都道府県にある。また、出所してから数カ月、安いお金で生活させてもらいながら仕事をして、ある程度お金がたまったら民間に引っ越すといった更生保護施設が各都道府県にあるので、そういった施設に入ることもある。

質 疑 最高齢者が84歳とのことだったが、ここで亡くなった方はいるののか。また、亡くなった際、引き取り手がない場合はどうするののか。

応 答 亡くなった方はいる。横浜刑務所が引き取り手のない方を葬る墓を持っている。

質 疑 再犯率はどのくらいあるののか。

応 答 2年以内に犯罪を犯す再犯率は、当所では6%台である。B指標の施設では、15%を超える施設もある。

質 疑 刑務所内に空調を設置する予定はないののか。

応 答 全くない。設置することになれば、全国的なことになる。東京拘置所のように塀がなく建物自体が塀の役割をしているところは、空調が設置されている。また、北海道は冬場に暖房が入る。

(※ 上記以外の質疑は、施設見学中に随時行われた。)



#### (4) 調査結果

横須賀刑務支所は、適正な収容生活の確保に努めながら、刑務所の警備体制に重点を置いていた。

以上のように、横須賀刑務支所における警備体制についての取り組みを調査したことにより、本県の今後の施策を審査する上で、参考に資することができた。

<参 考>

- 1 随 行 者 安岡主査（議会局議事課）、今井副主幹（くらし安全防災局総務危機管理室）、佐伯課長補佐（警察本部総務部総務課）
  
- 2 調査箇所側出席者
  - （1）海上自衛隊横須賀地方総監部  
管理部総務課長、同広報係 3 等海尉、第 1 海上補給隊指令、補給艦ときわ艦長
  - （2）横須賀刑務支所  
横須賀刑務支所長、同次長、同庶務課長